

平成 30 年度（第 17 回）総会  
議事録

■開催日時 令和元年 8 月 25 日（日）  
午後 1 時 40 分～午後 3 時 50 分  
開催場所 JICA 地球ひろば 2 階大会議室

■出席者氏名 計 9 名  
（敬称略、理事以下五十音順）

|        |        |          |
|--------|--------|----------|
| 設楽 知弘  | （理事長）  | （議事録作成者） |
| 谷 敦    | （副理事長） |          |
| 坂上 みつ子 | （理事）   | （議事録署名人） |
| 相川 正義  | （事務局長） |          |
| 小泉 新一  | （監事）   |          |
| 松崎 志津子 | （監事）   |          |
| 荒木 元世  | （会員）   | （議事録署名人） |
| 若井 弘   | （会員）   |          |
| 渡辺 淳一  | （会員）   |          |

■総会の次第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 出席者及び定足数の確認
4. 議事並びに資料の確認
5. 議事録作成者および議事録署名人の指名
6. 議長選出
7. 議題 決議事項
  - 第一号議案 平成 30 年度事業報告書の承認
  - 第二号議案 平成 30 年度収入支出状況報告と財産目録の承認及び会計監査に関する件
  - 第三号議案 訓練中ボランティア支援活動の交通費等経費に関する件
  - 第四号議案 令和元年度事業計画および予算に関する件
  - 第五号議案 役員の改選に関する件
8. 報告事項、その他
9. 閉会

■議事経過の概要及び議決結果

1. 開会宣言  
定刻に至り設楽（理事長）により総会が開会され、総会の司会は相川（事務局長）が担当した。
2. 理事長挨拶  
設楽（理事長）が平成 30 年度（第 17 回）総会の開催に際しての挨拶を行った。
3. 出席者および定足数の確認  
総会は会員本人出席 9 名と本人の委任状による代理出席 23 名の合計 32 名で、会員数 48 名の過半数である 25 名に達しており有効である旨を確認した。
4. 議事並びに資料の確認  
設楽（理事長）により、総会の議事および資料の説明があり、出席者全員に資料が配布され内容を確認した。
5. 議事録作成者及び署名人の指名  
議案審議に先立つ議事経過をまとめるにあたり、議事録作成者に設楽（理事長）が立候補し、賛

否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。また、議事録署名人には坂上（理事）、荒木（会員）が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。

#### 6. 議長選出

設楽（理事長）より議長に渡辺（会員）が推薦され、賛否を求めたところ全員異議なくこれに賛成した。

#### 7. 議案の審議及び結果

##### ア 第一号議案 平成 30 年度事業報告の承認

渡辺（議長）は第一号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第一号議案に関して、配布資料の「平成 30 年度 事業報告書」を用いて、平成 30 年度の事業 ①訓練中ボランティア支援活動、②グローバルフェスタ、協力隊まつりへの参加、③協力隊まつりでのシンポジウムの開催、に関する内容と成果の報告、及び収支の説明を行った。渡辺（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

##### イ 第二号議案 平成 28 年度収入支出状況報告と財産目録の承認及び会計監査に関する件

渡辺（議長）は第二号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第二号議案に関して、配布資料の「平成 30 年度 活動計算書」「平成 30 年度 計算書類の注記」を用いて平成 28 年度の収入と支出の状況を、①経常収益 ②経常費用ごとに報告を行った。

また、設楽（理事長）は配布資料の「平成 30 年度 財産目録」「平成 30 年度 貸借対照表」を用いて、それらの状況を、①資産の部 ②負債の部ごとに報告を行った。

その後、小泉（監事）により正確かつ適正であるとの監査結果が報告された。

若井（会員）より「平成 30 年度 財産目録」について、郵便貯金の口座は残高 0 円でも存在するののかという質疑があり、松崎（監事）より最近は使用していないが存在するとの理解であるが、後日確認するとの回答がなされた。

渡辺（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

##### ウ 第三号議案 訓練中ボランティア支援活動の交通費等経費に関する件

渡辺（議長）は第三号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

谷（副理事長）は第三号議案に関して、プロジェクターを用いて訓練中ボランティア支援活動の交通費等経費に関して説明した。これまで JICA が講師に支払っていた交通費等の経費について、2019 年度 1 次隊から取りやめになったこと、JICA からは直接訓練所を訪れる以外にスカイプ等による遠隔操作での講義の実施も可能との説明があったことを説明した。また、理事会としては 2019 年度 2 次隊以降も従来と同じく訓練所からの要望があれば講師を直接訓練所に派遣したい意向と説明された。更に、最近の訓練中ボランティア支援活動の実施率（25～30%）と駒ヶ根、二本松への都内からの交通費の概算（駒ヶ根 2 万円、二本松 3 万円）が示され、当会で交通費等を負担する可能性とその上限額について会費収入の 50%程度が妥当との案が説明された。

渡辺（議長）が参加者 1 人 1 人に意見を求めたところ、可能な限り講師を訓練所に直接派遣することと交通費等を負担することが全員に合意された。また、その額は令和元年度については 5 万円を上限とし、講師と受講者の双方がスカイプでもよいと判断した場合はスカイプも可能との意見で一致した。更に、訓練中ボランティア支援活動については令和元年度の実績や課題等を基に必要に応じて見直していくことが合意された。尚、これまで講師は公共交通機関を利用して派遣されていたが、仮に自家用車で駒ヶ根や二本松に行くことになった際などに不慮の事故に遭うあう可能性がゼロではないことから、ボランティア保険の必要性が指摘された。

渡辺（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

##### エ 第四号議案 令和元年度事業計画及び予算に関する件

渡辺（議長）は第三号議案を審議することとし、理事会に説明を求めた。

設楽（理事長）は第三号議案に関して、配布資料を用いて、令和元年度の事業計画の方針について、活動計画を提示した。主な活動内容及び収支として、グローバルフェスタ、協力隊まつりへの参加、寄付、会費による収入を見込んでいる。支出は、定例会、訓練中ボランティア支援活動、協力隊まつりでのシンポジウム開催が提案された。

渡辺（議長）が議案に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

##### オ 第五号議案 役員の改選に関する件

設楽（理事長）より、役員・顧問の改選に関して現時点での役員・顧問に加えて、徳永（会員）を理事として推薦する旨の説明があり、新役員・新顧問を以下とする提案があった。

【新理事会役員・顧問】

理事長： 設楽  
副理事長： 谷  
事務局長： 相川  
理事： 坂上、徳永  
監事： 小泉（会計監査）、藤原（会計監査）、松崎  
顧問： 保坂

渡辺（議長）が改選に関して確認する旨を諮ったところ、異議なく承認可決された。

8. 報告事項、その他

渡辺（議長）より、当会のメーリングリストの登録方法、会員への情報公開に関しての助言があり、会員に対してこれまで以上に積極的に情報公開をするよう努力することが提案された。

予定していた議案と報告は以上であった。総会の議決事項をすべて終了したため議長は解任され降壇した。

9. EVAA 会員の活動報告 設楽 知弘 「ODA 学校建設案件の紹介」

設楽（理事長）による「ODA 学校建設案件の紹介」の活動報告があり、2015 年におきたネパール地震の復旧復興プロジェクトの内容が詳しく参加者に共有された。

10. 閉会

設楽（理事長）により閉会が宣言され、総会は午後 3 時 50 分に終了した。

上記のとおり平成 30 度（第 17 回）総会の議事に相違ないことを証するため、ここに議事録署名人が記名・捺印する。

議事録署名人